

会報 しんせき

第 100 号

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新潟市秋葉区下新364-1 TEL 0250-47-4640

新潟コミュニティ協議会の事業は新潟市の助成を受けています。

令和4年8月10日

発行責任者

新潟コミュニティ協議会

会長 渡辺 和典

小口観音山遊歩道に咲き誇る ヤマユリとアジサイ



7月中旬頃撮影

2年前の夏に小口観音様33年大祭、そして、秋に若宮800年忌が厳粛に行われました。

折しも今、NHK大河ドラマで「鎌倉殿の13人」を放映中。鎌倉時代に起こった政変「承久の乱(1221)」にかかわりのある順徳上皇の第二皇子若宮が都を後にして、佐渡に配流された父との再会を目指すも追手に阻まれ願い叶わず、この地で自害されたという言い伝えから、例年になく多くの方が小口の観音堂境内や若宮御廟を散策されています。

(観音山を中心にした里山を、小口自治会や小口公園愛護会、小口遊林倶楽部のボランティアグループが保全管理に努めています。)

七夕飾り 今年も豪華に涼やかに

とどげ!! しあわせ 新関

七夕飾りは例年7月7日から行ってきましたが、今年は参議院選挙（投票日が7月10日）のため、会場が使用できず、選挙終了後飾り付けました。例年この時期は風雨が強くせっかくの短冊も風で飛ばされるため、今回は、室内展示に重点を入れました。

短冊は、自治会の皆様（自治会役員・老人クラブ・地域のお茶の間）・小学校の児童や保護者様、職員様、保育園様、こぐち苑様しんせき児童クラブなど多くの皆様からご協力をいただきました。皆様に厚く御礼申し上げます。

短冊を見ますと、七夕に願いを託す夢や希望と同時に、日本や世界の世相を反映しているものが多くありました。



七夕福祉の集い(敬老会)



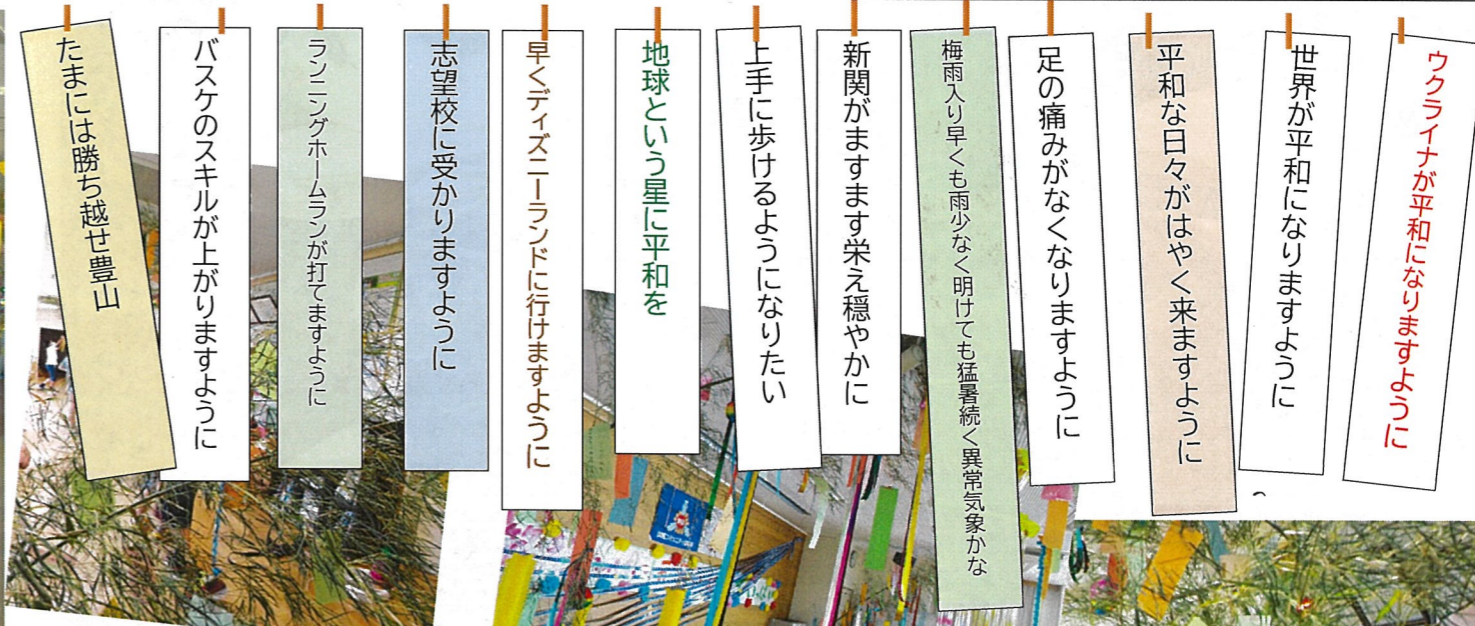
無念の中止

七夕飾りを囲みながら「福祉の集い(敬老会)」を3年ぶりに計画し、実施直前となっていました。しかし、県内3,000人を超えるコロナ感染症が報道されるに至り、やむなく中止いたしました。

今年こそはとコロナ対策など万全を期し準備をしてきました。しかし、出席者やそのご家族にもしものことがあつては、また、コミセンが休館となつて利用団体や児童クラブにも影響を及ぼすことがあつてはならない等々、いろいろ考えた上での決断でした。

「そのうちいいことあるだろう」「そのうち何とかなるだろう」の言葉を信じて…。

参加者の取りまとめなど自治会長様、老人クラブ会長様、お茶の間関係者様にご難儀をおかけしました。厚く御礼申し上げます。



■秋葉区地区懇談会 地域課題に対する回答

No	◎コミ協名 新関コミュニティ協議会 <日時：7/26（火）19時～ 会場：新関コミュニティセンター>	課題	回答	回答課
1		<p>■岡田地内の道路改修と信号機の設置について (五泉 ⇄ 下越病院方面)</p> <p>近年、岡田から下越病院方面への農道が整備されたことに伴い、交通量が急増しています。しかも岡田の田中橋付近は、変則的な交差点となり事故も起きています。</p> <p>今後、歩行者とりわけ児童の安心安全、並びにドライバーの安全確保が急務です。</p> <p>道路の改修や信号機の設置計画について次の点についてご説明ください。</p> <p>① 市の計画について ② 進捗状況について ③ 今後の見直しについて</p>	<p>(参考) 岡田中新田農道の経緯 (既存農道の経緯)</p> <p>昭和 50 年頃に広域農道阿賀野川左岸地区として県で事業採択。その後、県農地部・土木部で協議を行い岡田中新田地区の基盤整備事業として新津郷土地改良区で工事を実施。(H19～H28)</p> <p>① 岡田地区の農道の整備計画については、現在測量や設計を行っております。令和 4 年度より用地買収を行い令和 8 年頃の供用を目指しております。</p> <p>② 大関第 21 号下新線のカーブの交差点については、農道整備に合わせ交差点改良を行う予定です。</p> <p>③ 交差点部分の信号機の設置については、警察に交差点改良後の設置要望をしております。</p>	産業振興課
2		<p>■新潟市（秋葉区）の公共施設の見直しについて</p> <p>新潟市は公共施設を見直し、廃止や統合、再編などの計画を示されました。折しも学校は地域と連携しながらの「コミュニティースクール」が動き始めたタイミングと重なり、地域も大変困惑しています。</p> <p>については、次の内容について住民にわかりやすいご説明をお願いします。</p> <p>① 経緯と目的について ② 地域のコミュニティ活動をどのようにお考えなのでしょうか。</p> <p>(次ページに続く)</p>	<p>① この度は、公共施設の再編計画についてご心配をおかけしております。少子・超高齢化の進展に伴い、人口減少による税収減や公共施設に求められるサービスの変化が予想される中、老朽化による大規模な改修が必要な施設が今後大幅に増加していきます。</p> <p>こうした状況から、現在の施設を全て改修し、維持していくことは、困難であると考えられるため、施設を集約化したり、複合化したりすることで、サービスを維持しながら、安心・安全な公共施設を次世代へ引き継いでいくことが必要となっています。</p>	財産活用課 教育総務課

(前ページから続く)

③ 新関小学校と新関コミセンの今後について

秋葉区地区懇談会開催



7月26日、長崎秋葉区長様はじめ各部課長ご出席のもとで地区懇談会が行われました。コロナの関係で人数制限があり自治会長様だけのご案内となりました。

長崎区長のあいさつや事業説明の後、私共が掲げた2つの地域課題について意見交換がなされました。時間制限もあり十分な質問ができませんでしたが、瀬倉新関地区自治会長さんからは、道路問題について岡田地内の現状や児童等の安全な登下校、また、ドライバーの安全確保等の質疑がありました。また、学校問題についても今後時間をかけ地域と十分話し合いながらより良い方法を考えていきたいということでした。

② 地域のまちづくりや諸課題を解決していく上で、コミュニティ協議会を中心とした地域におけるコミュニティ活動は非常に重要な役割を担っている活動であると考えております。今後も地域と連携し、市民自治の推進を図っていきたいと考えていることから、区としては、コミセンを今後も残していきたいと考えています。

③ 現在の公共施設再編案において、新関小学校は、「集約」の方針となっておりますが、これは、教育委員会で定める、「新潟市立小中学校の適正配置基本方針」に基づく学校の適正規模数や受け入れ先の学校の施設規模からみた全市一律の評価により集約となっているものです。

小学校の今後のあり方については、公共施設の再編とは別に地域を主体とした検討会で、子どもたちの望ましい教育環境確保の視点などから検討することとしています。

なお、教育委員会では、児童生徒がいろいろな考えに触れ、切磋琢磨することを通じて豊かな心や確かな学力、集団性、社会性を育むことができるような教育環境について、小学校は 12~24 学級、中学校は 9~18 学級を適正な学級規模としています。これについては、国と同じ基準であり、全ての小中学校は適正規模であることが望ましいと考えることから、小規模な学校に関しては、地域や保護者の皆さまと学校の今後のあり方を考えていただくための取組を順次進めています。

この回答文書は、当日役所から配布されたものを縮小して掲載しました。

◆「災害は忘れた頃にやってくる」と言われてきました。今では「忘れないうちにやってくる」ようです。

梅雨明けが例年になく早く、しかもすさまじいほどの猛暑、そして「もどり梅雨」の様相。いやな予感がした中で大水害が村上市にも襲いかかりました。お盆を前にして、また、稲の穂が出始めたばかりなのに…。被災された方々の心中を察するにお見舞いを申し上げる言葉が見つかりません。行政による最大限の支援援助を期待します。

◆「会報しんせき」が今号で100号を達成しました。創刊号は平成19年9月。しばらくは白黒印刷でしたが、途中からはカラー印刷が可能となりました。今後さらに工夫し内容充実に努めたいと思います。